

うどのにしいせき 鵜殿西遺跡（第3次）

所在地：みえけんみなみむろぐんきほうちょううどの三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 地内

交通：車で津・伊勢方面から来た場合

熊野尾鷲道路熊野大泊ICから国道42号線を南下し、県道35号線へ左折、「矢渕」信号で右折して北に100m程です。時間は熊野大泊ICから30分程です。津ICおよび伊勢ICからの所要時間は約2時間です。

鉄道で来た場合

JR紀勢本線「鵜殿駅」から出て右折し、県道沿いを新宮方面に歩き、「矢渕」信号で右折して北に100m程です。駅からの所要時間は徒歩約20分です。

位置情報URL：[三重県地図情報サービス 鵜殿西遺跡発掘調査現場](#)

調査期間：令和元年5月23日から令和元年11月26日（予定）

調査面積：5,052㎡

鵜殿西遺跡の調査が始まりました。

鵜殿西遺跡は、熊野川左岸の自然堤防上にあります。遺跡の西の岡の上には、鵜殿城跡があり、城跡の展望台からは熊野川の河口や太平洋などを望むことができます。

平成30年度の調査では、鎌倉時代から江戸時代の集落跡がみつかりました。今年度の調査は昨年よりも広い面積を調査するため、さらに詳しい発掘成果が期待されます。



▲鵜殿城跡から展望した鵜殿西遺跡



区画溝

区画溝で囲まれた屋敷跡（室町時代）



小穴から出土した小皿（江戸時代前半）

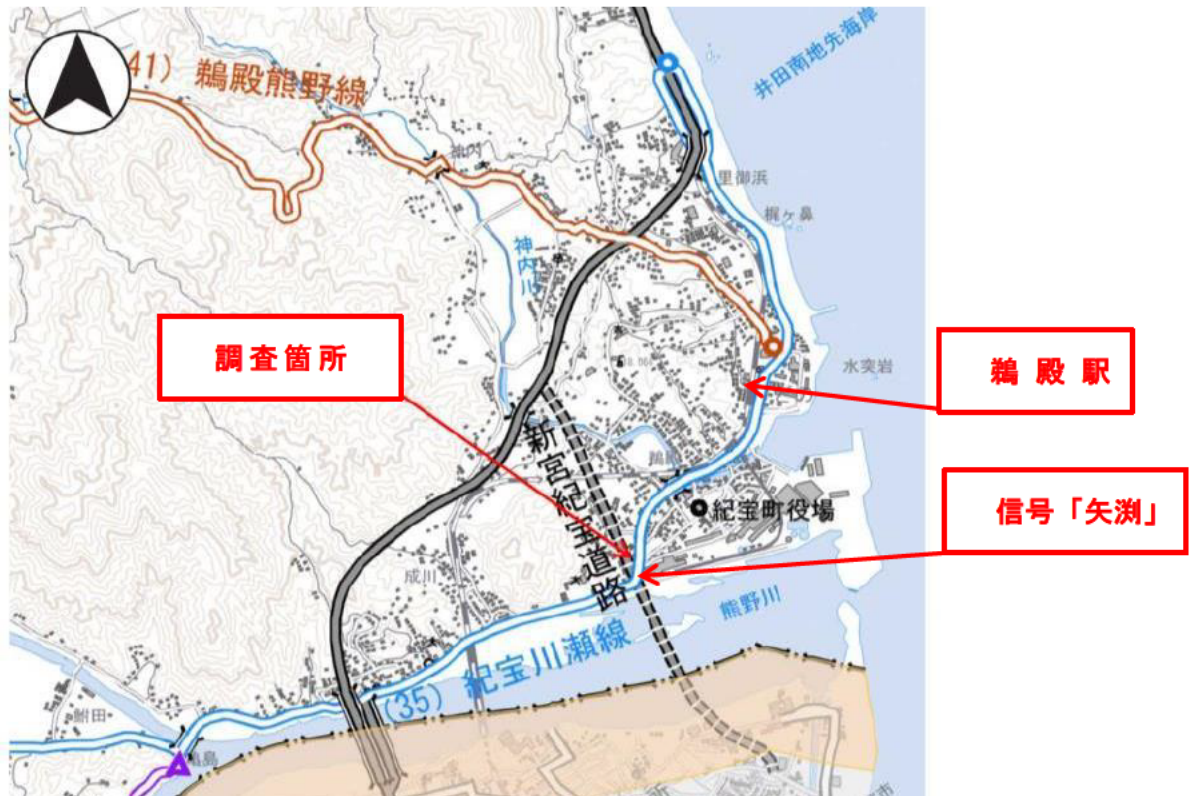


鉄鎌（室町時代）



播磨産の鍋（江戸時代中頃）

※播磨は現在の兵庫県南西部です。



●調査地周辺の交通案内

<問い合わせ先>

〒519-4325 三重県熊野市有馬町4621-32

三重県埋蔵文化財センター調査研究2課 担当者：宮崎・鐸木

電話：0597-89-5570

FAX：0597-89-5572